

船舶事故調査報告書

平成29年1月12日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年5月15日 15時48分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港第3区 博多港西公園下防波堤灯台から真方位281° 1,200m付近 (概位 北緯33° 36.5′ 東経130° 21.9′)
事故の概要	プレジャーボートオーシャンスカイは、西進中、干出浜（岩）に乗り揚げた。 オーシャンスカイは、同乗者4人が負傷し、船底外板の破口等を生じた。
事故調査の経過	平成28年5月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート オーシャンスカイ、5トン未満 290-42293福岡、個人所有 10.07m (Lr) × 2.75m × 1.03m、FRP ディーゼル機関、169.17kW、平成5年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 47歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成15年6月30日 免許証交付日 平成25年1月22日 (平成30年7月1日まで有効)
死傷者等	軽傷 4人（同乗者）
損傷	船底外板に破口（全損）、推進器の脱落等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期、潮高 125cm
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人である同乗者5人を乗せ、博多港西防波堤南灯台と博多港西公園下防波堤灯台との間を通り、福岡市鶴来島北西方沖を同市姪浜船だまりに向け、約20ノットの対地速力で手動操舵により西進した。 本船は、船長が、フライングブリッジの操縦席に腰を掛け、本船から鶴来島までの距離を目測しながら操船していたところ、平成28年5月15日15時48分ごろ、船底からの衝撃を感じた直後、機関が

	<p>停止して左傾斜し、行きあしが止まったのちに右傾斜した。</p> <p>船長は、同乗者の安否を確認したところ、後部甲板に居た同乗者4人が負傷したことを知り、携帯電話で119番に救助を要請した。</p> <p>本事故の発生は、福岡市消防局災害指令センターを経て福岡海上保安部に通報された。</p> <p>船長及び同乗者5人は、公益社団法人日本水難救済会の救助船により、福岡市伊崎船だまりに移送された後、負傷した同乗者4人が、救急車で病院に搬送され、顔面打撲等と診断された。</p> <p>本船は、本事故後、本事故発生場所付近の干出浜（岩）に漂着して日本水難救済会所員により船固めされ、17日、福岡市漁業協同組合姪浜支所の所属船2隻により姪浜船だまりにえい航されて陸揚げされ、後日、解撤処分とされた。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約1.1mであった。</p> <p>船長は、本事故後、排水する目的でビルジポンプの使用を試みたものの、機関が動かず、同ポンプを使用できなかった。</p> <p>船長は、本事故当時、GPSプロッターを作動させていたが、周囲を見ていたので、GPSプロッターの画面を見ていなかった。</p> <p>海図W1227（博多港）によれば、鶴来島北西方約260m及び南南東方約280mにわたって干出浜（岩）が拡延している。</p> <p>船長は、本事故当時、海図W1227（博多港）を本船に備えていたが、鶴来島周辺に関する詳細な情報を知らず、姪浜船だまりに早く帰るつもりで、同島北西方沖を最短の進路で航行した。</p> <p>船長は、これまでに、大潮の干潮時、博多港鶴来島北灯浮標の北方を航行した際、鶴来島周辺の干出浜を見たことがあったので、本事故当時、同島からの離れ具合を確かめながら航行すれば、海面下の干出浜を避けて安全に航行できると思った。</p> <p>船長は、同乗者4人が後部甲板で負傷するに至った状況を把握していなかった。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、鶴来島北西方沖を西進中、船長が、鶴来島周辺の干出浜の拡延状況を知らずに航行したことから、同干出浜に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、鶴来島周辺の干出浜を見た経験により、同島からの離れ具合を確かめながら航行していたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、鶴来島北西方沖を西進中、船長が、鶴来島周辺の干出浜の拡延状況を知らずに航行したため、同干出浜に乗り揚げた</p>

	ものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 出航に先立ち、海図や水路誌により、障害物や目標となる物標の情報を収集し、自船が安全に航行できる船首目標及び避険線等の設定を行うこと。

付図1 事故発生経過概略図

